



2023年3月期 第2四半期 決算発表

2022年11月11日

TBS 株式会社

目次 1 / 2

1. 連結決算

- (1) 連結対象会社
- (2) 連結経営成績
- (3) セグメント別業績
- (4) 連結財政状態
- (5) 連結キャッシュフロー
- (6) その他の情報
- (7) 2023年3月期の業績予想

目次 2 / 2

2. 単体決算

(1) 単体決算

(2) 特別損失に関する説明

(3) 個別財政状態

(参考) J N C(株)連結業績

J N C(株)個別業績

J N C(株)2023年3月期の業績予想

1. 連結決算

1. 連結決算 (1) 連結対象会社

連結子会社 28社、持分法適用会社 18社の計 46社

連結子会社 28社		
JNC	JNC開発	商事事業
機能材料事業	オージェイケイ	日祥
JNCマテリアル	JNCフィルター	電力事業
CSエナジーマテリアルズ	広州ES繊維	市原ソーラー
韓国JNC	捷恩智無紡材料(常熟)	白川クリーンエネルギー
台湾捷恩智股份	捷恩智繊維貿易(上海)	白川SPC1
捷恩智液晶材料(蘇州)	JNC Nonwovens (Thailand)	白川SPC2
捷恩智显示科技(蘇州)	化学品事業	その他の事業
加工品事業	JNC石油化学	JNCエンジニアリング
JNCファイバース	千葉ファインケミカル	捷恩智(上海) 企業管理
九州化学工業	JNC North America Corp	
ジェイカムアグリ	JNC America	
持分法適用会社 18社		
機能材料事業	ESFV ホールディングス	京葉ポリエチレン
第三化成	ESFV (欧州)	シージーエスター
SK materials JNC	ESFV (香港)	その他の事業
SK JNC Japan	ESFV (タイ)	サンワ工事
加工品事業	ESFV (上海)	アール・ビー・エス
ESFV (日本)	ESFV (蘇州)	JNCセントラル
ESFV インク	化学品事業	
ESFV (米国)	日本ポリプロ	

1. 連結決算 (2) 連結経営成績

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	対前年増減
売上高	660億69百万円	714億13百万円	53億44百万円 (8.1%増収)
営業利益	35億07百万円	51億61百万円	16億53百万円 (47.1%増益)
経常利益	66億79百万円	80億45百万円	13億66百万円 (20.5%増益)
親会社株主に帰属 する当期純利益	109億74百万円	47億68百万円	△62億06百万円 (△56.5%減益)

参考) ナフサ価格の推移

2020年	1～ 3月	44,800円/KL
	4～ 6月	25,000円/KL
	7～ 9月	30,200円/KL
	10～12月	31,300円/KL
2021年	1～ 3月	38,800円/KL
	4～ 6月	47,700円/KL
	7～ 9月	53,600円/KL
	10～12月	60,700円/KL
2022年	1～ 3月	64,600円/KL
	4～ 6月	86,100円/KL
	7～ 9月	81,000円/KL

参考) 為替の推移

		期中平均	期末
2020年	1～ 3月	109.1円/USD	108.8円/USD
	4～ 6月	107.4円/USD	107.7円/USD
	7～ 9月	105.3円/USD	105.8円/USD
	10～12月	104.0円/USD	103.5円/USD
2021年	1～ 3月	107.1円/USD	110.7円/USD
	4～ 6月	109.8円/USD	110.6円/USD
	7～ 9月	110.1円/USD	112.0円/USD
	10～12月	114.1円/USD	115.0円/USD
2022年	1～ 3月	117.8円/USD	122.4円/USD
	4～ 6月	131.3円/USD	136.7円/USD
	7～ 9月	135.3円/USD	144.8円/USD

**(参考) 第2四半期決算
連結売上高・経常利益推移 (2013年度～2022年度)**

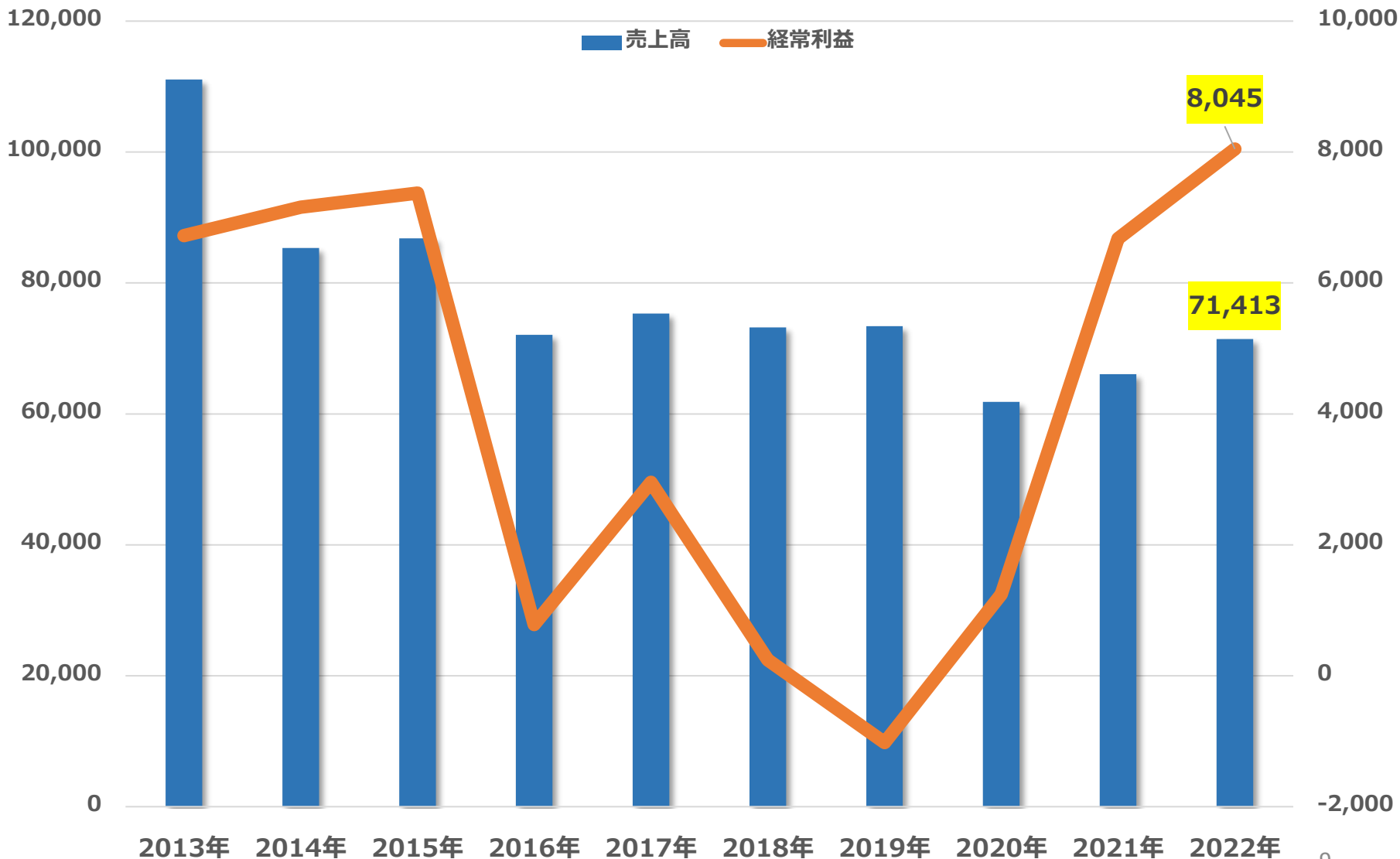
(百万円)

年度	売上高	経常利益	年度	売上高	経常利益
2013年	111,075	6,723	2018年	73,201	243
2014年	85,353	7,159	2019年	73,383	△1,021
2015年	86,806	7,374	2020年	61,826	1,245
2016年	72,066	783	2021年	66,069	6,679
2017年	75,317	2,954	2022年	71,413	8,045

(参考) 第2四半期決算 連結業績推移 (2013年度~2022年度)

売上高：百万円

経常利益：百万円



**(参考) 年度決算
連結売上高・経常利益推移 (2012年度～2021年度)**

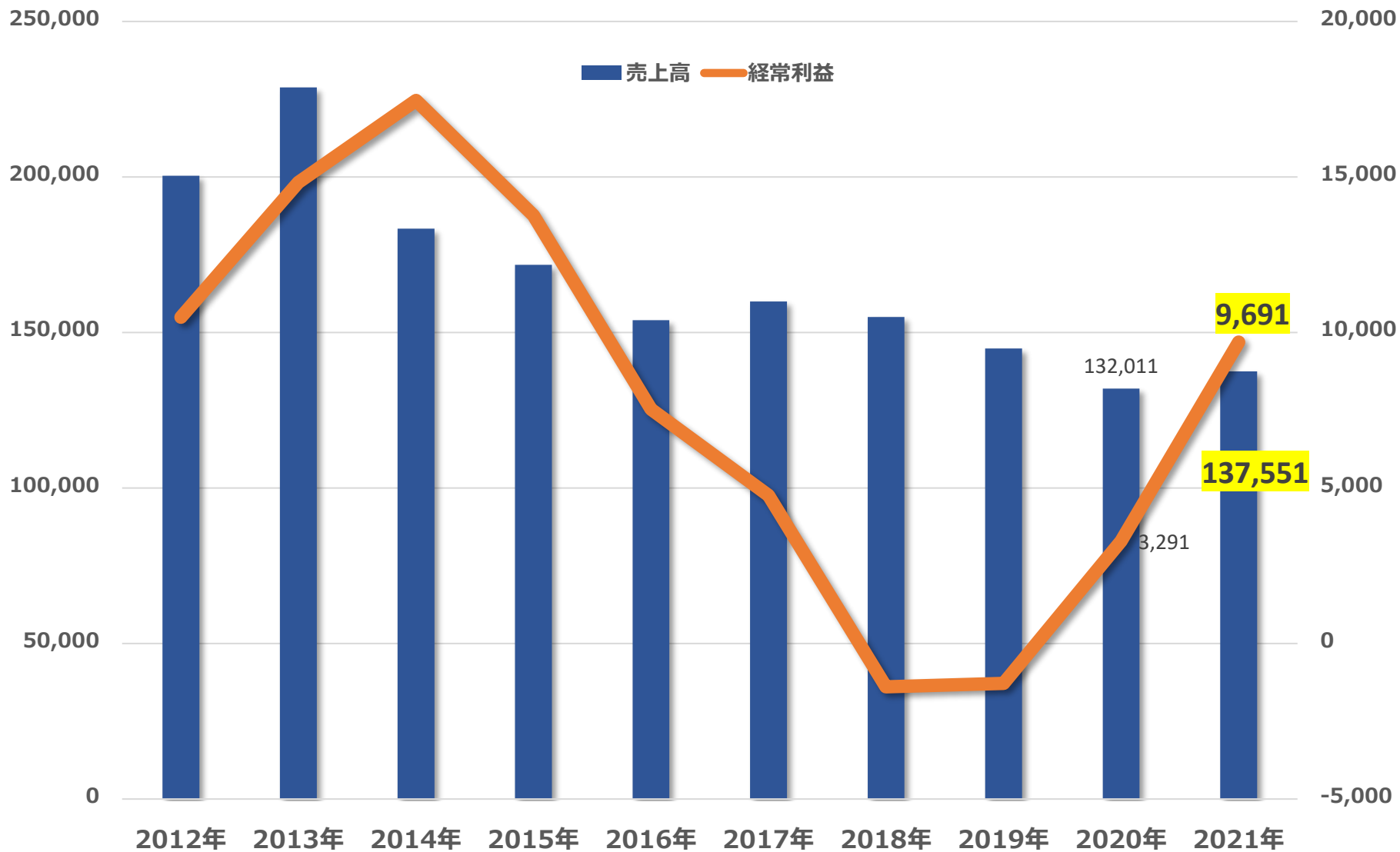
(百万円)

年度	売上高	経常利益	年度	売上高	経常利益
2012年	200,448	10,495	2017年	159,984	4,760
2013年	228,824	14,824	2018年	155,025	△1,391
2014年	183,364	17,460	2019年	144,852	△1,285
2015年	171,776	13,766	2020年	132,011	3,291
2016年	153,999	7,531	2021年	137,551	9,691

(参考) 年度決算 連結業績推移 (2012年度～2021年度)

売上高：百万円

経常利益：百万円



1. 連結決算 (3) セグメント別業績

単位：百万円

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
機能材料	13,206	11,320	△1,886	△14%
加工品	27,135	33,501	6,366	23%
化学品	15,909	16,094	185	1%
商事	4,056	4,889	833	21%
電力	2,888	3,240	352	12%
その他	2,872	2,367	△505	△18%
連結売上高	66,069	71,413	5,344	8%
	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
機能材料	△55	1,190	1,245	—
加工品	1,563	2,785	1,222	78%
化学品	4,127	2,776	△1,351	△33%
商事	185	248	63	34%
電力	1,428	1,378	△50	△4%
その他	△570	△332	238	—
連結経常利益	6,679	8,045	1,366	20%

1. 連結決算 (3) セグメント別業績

機能材料事業（液晶材料等）

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
連結売上高	132億06百万円	113億20百万円	△18億86百万円	△14%
連結経常利益	△55百万円	11億90百万円	12億45百万円	－%

- ・液晶材料は、液晶テレビを中心に最終製品の需給バランスが崩れ、ディスプレイメーカーが生産を抑制したことから出荷が低調となり、売上は減少しました。
- ・シリコン製品は、市況の落ち込みは見られましたが、放熱材等への用途拡大や一部顧客における物流リスク回避のための在庫積み増しにより出荷が堅調に推移したほか、原材料価格の高騰を受け、販売価格の値上げを実施し、売上は増加しました。

1. 連結決算 (3) セグメント別業績

加工品事業（繊維製品、肥料等）

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
連結売上高	271億35百万円	335億01百万円	63億66百万円	23%
連結経常利益	15億63百万円	27億85百万円	12億22百万円	78%

- ・ 繊維製品は、海外では中国のロックダウンや在庫調整の影響を受けて需要が低調となったものの、国内では原綿の出荷が堅調に推移しました。また、原材料価格高騰に伴い販売価格の改定を実施したことにより、売上は増加しました。
- ・ 肥料は、輸出環境の悪化と原材料高騰に起因する価格上昇により買い控えが発生したことで、海外向けの出荷が減少しましたが、国内販売では肥料価格値上げ前の先取り需要により出荷が大きく伸長し、売上、損益は増加しました。

1. 連結決算 (3) セグメント別業績

化学品事業（アルコール、樹脂等）

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
連結売上高	159億09百万円	160億94百万円	1億85百万円	1%
連結経常利益	41億27百万円	27億76百万円	△13億51百万円	△33%

- ・オキシアルコールは、生産設備の大型定期修理の実施による出荷減少に加え、ウクライナ情勢や中国におけるロックダウンの影響により、アジア市場の需要が冷え込み厳しい環境となりましたが、塩化ビニル樹脂ライセンスの大型案件の成約があったことから、売上は前年並みとなりました。
- ・ポリプロピレンは、主力の自動車関連分野における半導体等の供給不足に起因する減産影響が継続したほか、軟調な海外市況を受けた輸入品との価格差が拡大したことにより、出荷は減少しました。

尚、昨年度の経常利益には海外コンパウンド会社の売却益が含まれています。

1. 連結決算 (3) セグメント別業績

商事事業

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
連結売上高	40億56百万円	48億89百万円	8億33百万円	21%
連結経常利益	1億85百万円	2億48百万円	63百万円	34%

- ・ 商事事業は、化学品事業と同様、主力のポリプロピレンでは引き続き自動車関連分野で減産の影響を受けたものの、その他の製品も含め原料ナフサ価格の高騰に伴い販売価格が上昇したことにより、売上は増加しました。

1. 連結決算 (3) セグメント別業績

電力事業

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
連結売上高	28億88百万円	32億40百万円	3億52百万円	12%
連結経常利益	14億28百万円	13億78百万円	△50百万円	△4%

- ・ 電力事業は、九州地区における F I T 活用による安定した収益基盤の強化に注力し、対象となる残り 3 箇所の水力発電所について大規模改修工事を計画的に進めました。
- ・ また、安定した降雨に支えられて発電量は堅調に推移しましたが、令和 4 年台風 14 号により一部の水力発電所で稼働を一時的に停止するなどの影響を受けました。

1. 連結決算 (3) セグメント別業績

その他の事業 (エンジニアリング等)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年度比	増減率
連結売上高	28億72百万円	23億67百万円	△5億05百万円	△18%
連結経常利益	△5億70百万円	△3億32百万円	2億38百万円	-%

- ・エンジニアリング事業は、前期からの大型設備案件の工事が順調に進捗しましたが、新規の受注が減少しました。

1. 連結決算 (4) 連結財政状態

	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	前連結会計 年度末比
総資産	2,532億86百万円	2,598億41百万円	65億55百万円 (2.6%)
総負債	3,753億10百万円	3,751億43百万円	△1億66百万円 (△0.1%)
純資産	△1,220億23百万円	△1,153億02百万円	67億21百万円
自己資本比率	△51.0%	△47.2%	—
1株当たり純資産	△830円53銭	△788円36銭	—

総資産は、前年度末と比べ65億55百万円（2.6%）増加し、2,598億41百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加によるものです。
総負債は、前年度末と比べ1億66百万円減少し3,751億43百万円となりました。
純資産は、前年度末と比べ67億21百万円増加し△1,153億02百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

1. 連結決算 (5) 連結キャッシュフロー

営業活動によるキャッシュ・フロー (24億02百万円)

営業活動によって得られた資金は、24億02百万円となりました。これは主に売上債権の減少、利息及び配当金の受取額の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー (△48億円)

投資活動によって使用された資金は、48億円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー (△14億30百万円)

財務活動によって使用された資金は、14億30百万円となりました。これは主に借入金の返済を行ったことによるものです。

1. 連結決算 (5) 連結キャッシュフロー

水俣病補償によるキャッシュ・フロー (△6億37百万円)

	患者医療費等	△6億85百万円
	公的債務返済	△0百万円
	解決一時金返済	-百万円
	救済一時金返済	-百万円
	仮執行金返還	49百万円
	計	△6億37百万円

現金及び現金同等物期末残高

372億19百万円 (前年度末比 △33億52百万円減少)

1. 連結決算 (6) その他の情報

水俣病被害者への一時金の支払について

水俣病被害者救済等のための「特別措置法」（平成21年法律第81号）及びその救済措置の方針に基づく、当社の2022年4月1日から2022年9月30日までの一時金の支払はありませんでした。

なお、2014年8月29日に環境省より、救済措置対象者の判定が熊本県及び鹿児島県で終了した旨の公表がなされていますが、支払い申請の受け付けは継続しています。

1. 連結決算 (6) その他の情報

水俣病訴訟の提起について

水俣病に罹患しているとする原告から、当社、国及び熊本県に対して熊本地方裁判所及び東京地方裁判所、大阪地方裁判所に損害賠償請求訴訟が提起されております。

2013年6月20日以降数次にわたり、2022年9月30日までに水俣病不知火患者会に属する原告等合計1,625名から行なわれた提訴の損害賠償請求金額は合計73億12百万円となっております。

1. 連結決算（7）2023年3月期の 連結・個別業績予想

チッソ連結業績予想	
売上高	1,510億円
経常利益	80億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	未定

チッソ個別業績予想	
売上高	－億円
経常利益	16億円
当期純利益	未定

2. 单体決算

2. 単体決算 (1) 単体決算

売上高：JNCへ事業移管によりゼロであります。

営業利益：1億62百万円の損失

チッソのコーポレート部門の人件費及び経費が発生しています。

経常利益：2億78百万円の損失

営業外費用として金融機関への支払利息、患者センター及び水俣病被害者救済支援財団の運営費用が発生しています。

純利益：7億89百万円の損失

2. 単体決算 (2) 特別損失に関する説明

特別損失および未処理損失は次の通りです。

特別損失		13億百46万円
水俣病被害者救済一時金		－百万円
水俣病補償関係		13億46百万円
(内訳)	補償金等	6億85百万円
	公的融資金利	31百万円
	解決一時金金利	1億10百万円
	救済一時金金利	5億17百万円

未処理損失		△1,898億円
(内訳)	水俣病関係損失累計額	4,153億円
	事業活動による利益	2,255億円

2. 単体決算 (2) 特別損失に関する説明

認定患者		1名
公的債務残高の状況 (2022年9月末)		1,995億円
(内訳)	元本	1,909億円
	金利	86億円
※億円未満切捨て		
当期の公的債務返済状況		
全額支払猶予措置を講じていただいています。		

2. 単体決算 (3) 個別財政状態

	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	前年度末比
総資産	656億33百万円	625億37百万円	△30億96百万円
純資産	△1,803億10百万円	△1,810億99百万円	△7億89百万円

- 総資産：主に現金預金の増加及び、未収法人税と未収配当金の減少によるものです。
- 純資産：純損失の分だけ減少しました。

参考. JNC(株)連結業績

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	対前年増減
売上高	660億69百万円	714億13百万円	53億44百万円 (8.1%増収)
営業利益	36億82百万円	53億25百万円	16億43百万円 (44.6%増益)
経常利益	69億64百万円	83億26百万円	13億62百万円 (19.6%増益)
親会社株主に帰属 する当期純利益	122億73百万円	55億55百万円	△67億18百万円 (△54.7%減益)

参考. JNC(株)個別業績

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	対前年増減
売上高	302億73百万円	271億31百万円	31億42百万円 (10.4%減収)
営業利益	2億38百万円	△5億46百万円	△7億84百万円 (減益)
経常利益	11億64百万円	23億95百万円	12億31百万円 (105.8%増益)
純利益	△11億60百万円	26億86百万円	38億46百万円 (増益)

参考. JNC(株)2023年3月期の業績予想

J N C 連結業績予想	
売上高	1,510億円
経常利益	86億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	未定

J N C 個別業績予想	
売上高	540億円
経常利益	25億円
当期純利益	未定

以上